国語総合　評論文確認問題　二学年

【一】次の文章を読んで後の問に答えよ。

①勉強するといいことがあるのだが、それが何だか、おわかりだろうか。勉強するといちばんいいことは、知識が増えること以上に、頭が良くなるということなのだ。

②　勉強すると頭が良くなる」ということは意外に見落とされているが、「なぜ勉強をするのか」という問いへの一つの端的な答えである。運動すると運動神経が良くなる。運動部に入って何年かやっていると、元はそんなに動きが鋭くなかった人でも、ある程度、体が動くようになる。それと似ている。勉強すると頭が良くなる。頭が良くなると同時に心のコントロールもうまくいくようになる、というのが大方のア　筋道だ。

③勉強しすぎて、ものすごくキレやすくなったという人の率よりも、ぜんぜん勉強しないでブチキレている人の率が圧倒的に高い。勉強すると頭がおかしくなるかのような＊言説をまき散らす人がいるが、基本的にそういうことはない。

④勉強というものをすることによって、ある種の自制心という、Aメンタルコントロール（心の制御）の技術も学ぶことができる。そういう心の技がセットで付いてくるわけである。これは、言ってみると人類の長年の知恵である。

⑤考えてみれば当たり前のことにすぎない。勉強するということの基本は、人の言うことを聴くことである。耳を傾けてイ　ガマンして聴くという心の構えが求められる。「おれが、おれが」という自己中心的・＊独善的な態度を一度　ウ　スてる必要がある。自分に理解できないことは全部　エ　カチがない」という、自分の好きか嫌いかが世界をすべて決めるという態度では何も学べないのだ。先人たちの発見したことに対して耳を傾け、しっかりと聴くということが、学ぶということの基本だ。そうした学ぶ構えができている人は、ほかの人に対しての意識を持つこともできやすい。人の言葉を聴いている間は、自己中心的な態度をやめているということだからだ。

⑥本を読むということも、同じく聴く構えを要求される。著者に対して一〇〇パーセント同意するのではないまでも、耳を傾け＊虚心坦懐に、つまり心をすっきりさせて、読むわけだ。もちろん反発もあるかもしれないが、まずは相手の言っていることを受け入れてみようという、「a積極的にb受動的な構え」を、勉強・読書を通じてつくり上げる。これが学ぶ構えの基本なのだ。

⑦学ぶ構えの基本は、受動的であることに積極的な　B積極的受動性」である。自己表現の意欲があるのは構わない。表現するためにいろいろなものを読んで、自分のものにしてそれで表現するのが、筋道なのだ。モーツァルトが音楽の技法・文法を　オ　修得して表現したように、である。知識や技を吸収するときには、人の言っていることに耳を傾けるという素直な態度が必要である。素直であるということが、学ぶという活動そのものの持っている本質なのだ。

＊語注

言説…言葉で説くこと。その説。

独善…自分だけが正しいと考えること。

虚心坦懐…何のわだかまりもないすなおな心で、物事にのぞむこと。

問一　傍線部ア～オのカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直せ。

問二　次の問に答えよ。

(1)二重傍線部「a積極的」の対義語を漢字で書け。

(2)空欄に漢字一字を入れ、二重傍線部「b受動」の対義語を完成させよ。

受動　―　（　）動

問三　①段落で筆者が話題にしていることは何か。解答欄に合うように、本文の語句を用いて十一字で記せ。

（　　）ということ。

問四　傍線部Aとあるが、勉強するとなぜ　ヌンタルコントロールの技術」を学ぶことができるのか。本文の語句を用いて、次の文を完成させよ。

勉強することの基本は　Ⅰ　9字〕ことであり、　Ⅱ　8字〕をやめることだから。

問五　傍線部B　積極的受動性」とは、具体的にはどのようなことをすることか。⑦段落から具体例を三十五字以内で抜き出し、最初と最後の五字を記せ。6点

問六　右の本文について、約百字で要約をせよ。最初と最後の語句は示しているので参考にすること。

要約下書き用

勉				
強				
す				
る				
と				
学				
ぶ				
こ				
と				
の				
本				
質				
で				
あ				
る				
。				